

事業所名

フリースペース みのり

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

27 日

法人（事業所）理念		療育を必要とする児童に対し、日常生活における基本動作などの支援を行い、安心して家族・地域社会での生活が送れる様に支援を行う。									
支援方針		日常生活における基本動作の習得及び、集団生活に適応することが出来るよう、発達の状況に応じて療育を行います。 療育方針において、保護者の意向や発達状況・生活背景を交え、計画・実行を図ります。 関係諸機関と情報共有を行い、必要に応じて支援会議などの連携を図ります。									
営業時間		10	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	「衣服」：着替えの中で、季節に合せた服への認識・前後左右の認識を促して行きます。 「食事」：食事支援の中で必要と思われる課題を抽出し、食事中の集中力・道具の使い方・片付けなどを支援して行きます。									
	運動・感覚	粗大運動：「体幹」「身体図式の認識」に繋げて行ける様に、運動遊び・サーキット遊びを活動に取り入れて行きます。 微細運動：制作、型はめ等指先を使った活動を取り入れて行きます。									
	認知・行動	自身の名前を見分ける、書ける等自身に繋がる文字の練習や、時計・お金の読み方、使い方など日常生活に必要な練習を行います。									
	言語 コミュニケーション	適度な距離感を保ちながら、相手を見ての意思疎通のツールを見いだして行けるように支援を行います。									
	人間関係 社会性	「対人関係」遊びの中で大人を介して、他者と関わりの時間を増やして行きます。その中で集団生活に必要な挨拶やルールの習得に繋げれる様に支援を行います。 「社会性」集団生活の中で始まりの会や説明を聞く機会を取り入れ、他者と同じ行動をする練習を行います。									
家族支援		家庭内での取り組みと事業所内での取り組みを連携出来る様に伝える。						移行支援			
地域支援・地域連携		家庭に対して適切な支援が行えるよう、必要に応じて関係機関と連携を図る。						職員の質の向上		スタッフミーティングの中で活動内容を具体的に話し合う。 個々の成長や行動変化に対しての対応方法を話し合い、実践する。 様々なツールを利用し、発達に関係する勉強会を行う。	
主な行事等		季節に合せた活動（外出、買物学習）、避難訓練									